

せんだん



HP

西部小4つのたから
大きなうたごえ 元気なあいさつ
すなおな心 つなぐ心

命を守る着衣水泳

夏休みを前に、日本赤十字の指導員の方に来ていただいて、着衣水泳を実施しました。本校では毎年5年生で実施をしています。川や海で、自分がおぼれた場合、助けがくるまでとにかく「浮いて待つ」ことが大事だそうです。ペットボトルやランドセル(教科書等は水を吸って空気を閉じ込めるので?かえって浮きやすくなるとか)でも浮かぶことがわかりました。はじめは1分でもなかなか浮いて待つことができなかった子供たちですが、回数を重ねるにつれ、コツがつかめたところがありました。水路が多い千代田校区です。今回は5年生での経験でしたが、ご家族でプールや海に行かれた時には、空を見ながら浮く経験をしてみてください。もうすぐ夏休み。水の事故がないことを祈っています。



教えていただいてポイント

- ・合言葉は「浮いて待て」
- ・ペットボトルを「投げる」ときは少し水を入れた方が遠くに投げられる。
- ・靴は浮くのではいていた方がよい。
- ・おぼれている人を見つけたら、自分で助けに行かず、大人を呼ぶ。ペットボトルや救助具など浮きそうなものを投げる。

地域で「自治の力」を育む地区懇談会

たくさんの方に参加していただいた地区懇談会。私は仲田町団地に参加しましたが、子供たちがこんなにたくさん参加した懇談会は初めてでした。子供たちがたくさん発言をし、まるで学級会を見ているようでした。また、地域の方も、柵を超えたりして危険なことをしないように、と生の声を直接子供たちに届けていただきました。そして、自分たちの町をよりよくするためにがんばることを自分たちで決める、まさに「自治の力が育っている」と感じた懇談会でした。地域の皆様に見守っていただき、地域で育っている子供たちを、これからもどうぞよろしくお願いいたします。



全校雨の日集会

雨の多い6月。代表委員会で「雨の日にみんなで楽しめる遊び」について、4年生以上の学級代表で話し合いました。運営委員会の司会で昼休みに実際に集会をしました。6年生の工夫を凝らしたクイズや、5年生の進行、4年生の問題づくりで楽しんだ「お買い物に行こうよ」のゲーム。上学年の子供たちが全校を楽しませるために考えた自主的な活動でした。これからも、自分が楽しむことはもちろん、だれかを楽しませるため、喜ばせるために、自分たちで考えて行動できる子供たちに育ってほしいと願っています。



平和集会

長崎市より被爆体験を語り継ぐ朗読ボランティア「永遠の会」の原尾様、室井様に来ていただきました。原子爆弾や戦争中の暮らしについて話をしていただき、被爆体験を綴った「雲になってきえた」という絵本の朗読をしていただきました。自分たちと同じくらいの子供たちが戦争の被害にあった話に、子供たちも真剣な表情で聴いていました。また、6年生全員での「ピカドン」の絵本の群読は圧巻で、絵と音で見事に戦争の恐ろしさを表現していました。私も聞いていて、鳥肌が立つような、そんな恐ろしさと感動を覚えました。

今週、朝の時間に、縦割りグループで、6年生が修学旅行で持っていく折り鶴を折りました。「平和になるように折ろうね」と言い、教え合いながら折る姿が印象的でした。

児童の感想より

・平和集会で、原子爆弾の話や6年生の「ピカドン」のお話、2人の作文や3人のなかよしのお話を聞いて、私はあらためて戦争のおそろしさを知りました。(中略) 今も戦争があっているけど、戦争は人のいのちをうばっている、そんなことはぜったいにゆるせません。今でもせんそうで苦しむ人々がいるかもしれません。だから戦争がない世界がいいです。いつか平和な世界になるといいです。(3年 めいこ)

・今日の平和集会で心に残ったことが2つあります。1つ目は、原爆の話です。理由はあんなにきれいだった長崎市がたった一つの原爆で焼け野原になって、しかも川が黒くなって、とても威力があるんだなと思いました。2つ目は、城山国民学校です。(中略) 500m離れていて、原爆が落ちたと思うとぞっとします。これから、戦争のない世界を望みたいです。(4年 こたろう)

